

# IoT活用推進モデル事業（香川県広域水道企業団）

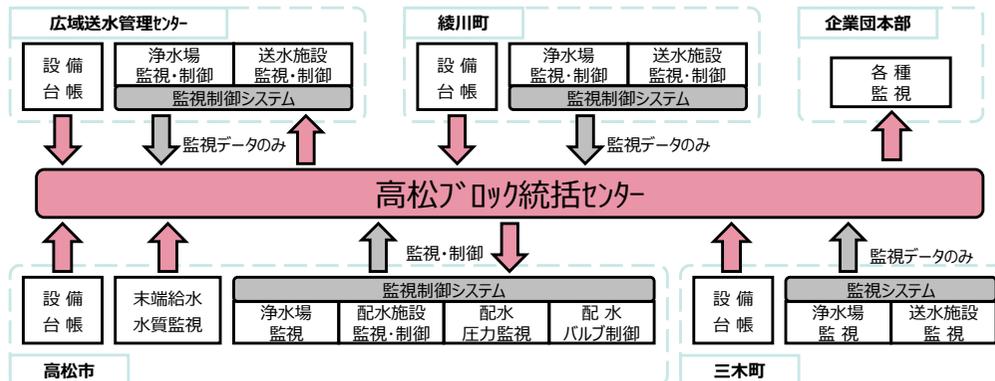
- 平成30年度より、IoTを導入し、高松ブロック統括センター及び旧用水供給浄水場の取水から配水まで常時監視することが可能となり、また、重要設備の振動や温度を常時計測し、データを蓄積することにより、故障前に兆候を把握し、修繕等を実施することにより設備の長寿命化を図った。
- 当該事業により、施設及び設備の状態が常時把握できることとなり、水運用の最適化・維持管理業務の高度化を図った。

## 事業概要・事業の進捗状況

- ・ 事業期間：平成30年度～令和3年度（補助事業：平成30年度～令和2年度）
- ・ 実施箇所：高松市外2市3町
- ・ 事業実施状況：事業完了

## 導入状況・設置状況

高松市の配水コントロール設備に三木町、綾川町及び広域送水管理センターの監視データや、末端給水の水質を監視している水質自動監視装置の監視データを加え、システムの拡充を図る。



## 業務の効率化

- 将来的には県内5ブロック全てに当該システムを拡張することにより、旧事業体毎に異っていた管理レベルを統一し、県内全域でより高いレベルでの水道事業の運営を実現するとともに、相互に連携することで災害等の非常時に強い体制を構築する。
- また、県内全域で蓄積した水圧、流量等のビッグデータにより、配水予測や漏水の早期発見、施設の整備計画へ反映など、事業運営の更なる高度化を目指す。
- 各地点の水圧、流量、水圧及び水質などの各種データの情報共有が可能となり、事故等発生時の対応がスムーズになった。

県内全域のビッグデータ

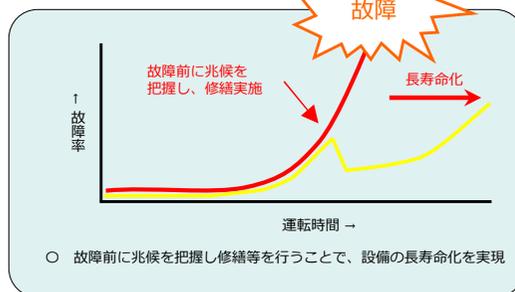
- 事業運営の更なる高度化
    - ・ 配水予測
    - ・ 漏水の早期発見
    - ・ 施設の整備計画へ反映
  - 災害時の連携
    - ・ 被害状況の早期把握により、迅速な復旧計画の策定及び応援体制の構築
  - 渇水時の対応
    - ・ 配水予測による水運用の効率化
    - ・ 原水状況を把握した適切な水運用
- 水道水の安定供給が可能

## 付加効果

### 重要設備の長寿命化



長寿命化のイメージ



## 他事業者へ共有すべき事項

システム統合を行うことにより情報共有が可能となり、電話やメールでのやり取りが減り、事故等発生時の対応がスムーズになったが、共有する情報に対する判断は、人それぞれであるため電話による意思疎通を行いながら対応することが重要である。

## 問合せ先

香川県広域水道企業団 高松ブロック統括センター 浄水課  
TEL:087-839-2751 / Email: takamatsu\_josui@union.suido-kagawa.lg.jp